

令和元年度 5月臨時会・6月定例会

福井県議会だより

第25号

≡ 主な記事

5月臨時会・6月定例会の概要	1
特集「恐竜博物館」	2
代表質問 先輩議員にインタビュー	3
一般質問	4・5
常任委員会	6
予算決算特別委員会	5・7
議案等議決結果	8



【鯖江市 西山公園】
「雲と噴水と屋台」福井県立大学写真部 提供

5月臨時会、6月定例会の概要

「令和」の幕開けとともに第19次民主議会がスタートし、初当選の議員8名を含む37名の議員が、決意新たに県政発展に向けた活動を開始しました。

5月16日に開いた臨時議会において、田中宏典議員が第101代議長に、小寺惣吉議員が第106代副議長に選出されました。また、新しい知事による機構改革に関する議案や、監査委員の任命の議案、委員会条例の改正議案など8件が上程され、全てが可決、承認または同意されました。

6月定例会は6月28日に開会し、7月25日までの28日間にわたって審議を行いました。開会日の本会議終了後には全員協議会を開催し、知事から提出された

補正予算案を初めとする8議案の説明を受けました。

今定例会では、杉本新知事の政治姿勢を中心に、長期ビジョンの策定、嶺南振興局の機能強化、地方創生・人口減少対策、北陸新幹線の整備と開業に向けた観光誘客、原発防災対策、豚コレラへの対応、教員の働き方改革など広範囲にわたり、活発な議論が行われました。特に、新たな恐竜博物館の建設から現在の博物館を増改築して機能強化する方針へと転換した恐竜博物館について議論が集中しました。

このような審議を経て、閉会日には、追加上程された副知事2名および監査委員の選任同意、教育委員会教育長の任命同意の議案を含む、知事提出議案全てが可決または同意されるとともに、請願2件についても採決を行い、今定例会に付議された案件の審議を終了しました。

特集 恐竜博物館



約2年前から理事者と侃々諤々(かんかんがくがく)の議論をしてきた第二恐竜博物館の建設構想は、増改築による機能強化を図る方向に転換されることになりました。

今回の福井県議会だよりでは、福井のダントツブランドである恐竜を活かした恐竜博物館のさらなる魅力向上に向けた機能強化への取り組みを特集します。



機能強化の基本的な計画案

知事や担当部長からは、次の計画案が示されています。

- ・ 1階と2階の手狭な収蔵庫は約1000㎡拡張
- ・ レストランとミュージアムショップは現在併せて280㎡だが、ここも手狭で700㎡以上必要である。
- ・ 恐竜の実寸大の投影ができる新たな多目的ホールでは、天井の高さを生かした特別展を開催するほか、冬の間は発掘体験を行う。

代表質問

県会自民党の田中敏幸議員は、「新しい体制のもと恐竜博物館の機能強化については、これまでの県の方針を大きく転換し、職員自らがゼロベースで検討するとされている。増改築という現実路線に大きく転換するに至った知事自身の率直な思い、また機能強化した恐竜博物館をどのように活用したいと考えているか」について質問しました。

知事は、次の考えを述べました。

「恐竜博物館だけではなく、長尾山の公園にある勝山市や民間の施設において子供たちが遊んだり親子で食事などもしており、そのために、スムーズな交通等を実現し、長尾山全体でお客様を迎え入れる。

ゼロベースの見直しを行った結果、オールシーズン体験可能な博物館にモデルチェンジをしていく。その

上で、大変高い目標だと思うが、年間140万人を目指していきたい。」

予算決算特別委員会

県会自民党の鈴木宏紀議員が「博物館そのものの機能強化、議会との協議のあり方」等について質問しました。

知事や担当部長は、次の考えを述べました。

「世界に誇る恐竜化石の研究、情報発信の拠点として今後も位置づけ、大迫力の最先端映像を中心に本物を体感・体験できる施設を考えている。12月定例会には必要な機能や規模、概算事業費を説明、来年2月定例会には配置計画案や外観イメージなどを含む最終的な説明を行う。」

鈴木宏紀議員は、「県庁の職員がゼロベースで検討された結果については、会派として尊重するという事で、コンセンサスを得た。これからも、**県が示す提案について、県議会は是々非々で議論を進める。新幹線開業に間に合うように、スピード感を持って建設的な議論をしていく。**」と述べました。

機能強化を検討するための経費を含む6月補正予算案は可決され、基本設計に向けて前進していきますが、議会のチェック機能を要所要所でしっかりと働かせつつ、事業スケジュールの短縮が図られることを、求めてまいります。



審議の様子は
YouTubeを
ご覧ください

代表質問

県会自民党 田中 敏幸 議員



知事の政治姿勢について

- ・ 杉本知事の県政運営に当たっての決意と、目指すべき県政の実現に向けた意気込みを伺う。
- ・ 福井県長期ビジョンの方向性について、知事の所見を伺うとともに、県議会への説明のタイミングも含め、計画策定に向けた具体的なスケジュールについて伺う。

県会自民党 宮本 俊 議員



並行在来線対策について

- ・ 並行在来線について、資産譲渡などのJRとの交渉状況に関する所見を伺うとともに、利用促進策などの市町との最新の協議状況、今後の対応方針について伺う。

産業行政について

- ・ 県内企業における人手不足の最新情勢と課題、支援策について所見を伺うとともに、特に中小事業者の事業承継問題への対応方針について伺う。

民主・みらい 西畑 知佐代 議員



知事の政治姿勢について

- ・ 徹底現場主義について、職員一人一人の意識醸成が不可欠であるが、知事が先頭に立ちながら、どのように具現化していくのかを伺う。
- ・ 6月補正予算を検討するに当たり、各市町の首長と意見交換を実施したようだが、その意見はどのように反映されたのか、また、今後の市町との協働について、具体的な進め方を伺う。

議員対談

先輩議員にインタビュー

今回から、今年4月に初当選した議員が先輩議員にインタビューをし、議員としての生涯・信条等を聞きます。第1回の先輩議員は山本文雄議員、聞き手は、渡辺大輔議員、山浦光一郎議員です。



山本文雄 議員

Q 政治家を目指したきっかけ、政治家としての初志について

A・ガソリンスタンドなどを営む会社を経営していたが、政治・行政に経営の視点が欠けていると感じ、町議会に挑戦。元々、地域の活性化に興味があった。福井県は、人口の面でも近隣の県より少なく、遅れているというイメージを改善し、リーダーシップをとれる県にしたかった。その思いは今も変わっていない。

Q 実現できた政策として印象深いこと、残念だったこと

- A・西川知事時代に3人子政策を提案。また、福井県は原発が一番多く存在するから、陽子線がん治療施設を提案し、立派な施設ができたのは感慨深い。
- ・ 北陸新幹線は、長野オリンピックの頃から関わってきたので、思い入れが強い。5県協議会の中では福井県がトップセールスをしてきたが、金沢止まりになり忸怩たる思いである。

Q 今後の福井県の方向性について

- A・全国に負けない、通用するものを一つか二つ創る。福井県には歴史があるというが、商品化されていない。
- ・ 例えば、「お市の方」は全国的な知名度があり、その像を足羽山の上に建て、北の庄城跡を整備する。加えてお市の方の「大河ドラマ」を誘致することで、多くの観光客が県都福井市に集まる。

Q 県議会議員とは、どうあるべきか

A・議員は職業人であってはならない。福井県を大所高所から見るのが大切。そして議員としての一言一句の重みを感じ取ってほしい。地域のことは市議に任せ、福井県全体の将来をどうすべきかを考えなければならない。特に人口減少が一番の問題で、福井県がなくなってしまうように、思い切った提案ができるのが議員である。



一般質問（要旨）

県会自民党 山浦 光一郎 議員



- ・ 経済政策
- ・ 農業、林業問題
- ・ 地方創生
- ・ 教育問題

県会自民党 田中 三津彦 議員



- ・ 恐竜博物館について
- ・ 日本遺産認定に伴う周遊観光推進について
- ・ 企業誘致の推進について
- ・ 嶺南地域への自衛隊の配備について

県会自民党 長田 光広 議員



- ・ 県民衛星プロジェクト等について
- ・ 本県のまちづくり等について
- ・ 農業振興について
- ・ インバウンド対策について

無所属 鈴木 宏治 議員



- ・ パパも子育てできる社会
- ・ 障がい者やひきこもりの社会参加

無所属 細川 かをり 議員



- ・ 災害に関し
 - (1) 繊維工場火災を受けて (2) 被災者生活再建支援
- ・ 県民参加の県政
 - (1) 無作為抽出の県民会議を
 - (2) ハラスメント等の通報手段、発見方法
 - (3) 県民活動への働き方改革の影響

日本共産党福井県議会議員団 佐藤 正雄 議員



- ・ 県民の暮らし・子育て応援の県政を
- ・ 杉本知事で原子力行政は変わるのか
- ・ 会計年度任用職員制度に関して
- ・ 労働災害に関して

民主・みらい 北川 博規 議員



- ・ 本県の子どもの貧困の状況把握と対策について
- ・ 教育の現状と今後の方向性について
- ・ 「圏域」という考え方について
- ・ スクールカウンセラーの配置について

県会自民党 松崎 雄城 議員



- ・ 農業について
 - (1) スマート農業 (2) 土地改良法改正
- ・ 北陸新幹線について
 - (1) 大阪延伸の方針
 - (2) 開業までのまちづくり
- ・ 防災について 河川整備計画の策定

県会自民党 山本 建 議員



- ・ 北陸新幹線敦賀開業に伴う特急存続問題について
- ・ 在来線駅の活性化策について
- ・ 県立高校の自転車通学時のヘルメット着用について
- ・ 3歳児健康診査における視力検査について
- ・ 水俣条約による水銀ランプの規制について

県会自民党 兼井 大 議員



- ・ 県民主役の県政について
- ・ 観光戦略について
- ・ インバウンド対策について
- ・ 若者の県内定住について
- ・ 農業人材の育成について
- ・ 政府関係機関の地方移転について
- ・ 教育行政について

民主・みらい 渡辺 大輔 議員



- ・ 教育行政について
- ・ 交通まちづくり政策について
- ・ 福祉政策について

県会自民党 笹岡 一彦 議員



- ・ 人口減少対策の基本方針
- ・ いちほまれの方向性
- ・ ドクターヘリ導入
- ・ 新幹線駅周辺整備への支援
- ・ 敦賀開業後の利便性確保
- ・ 新規土木事業の一件審査



代表質問、一般質問及び予算決算特別委員会の審議の様子はYouTubeをご覧ください

民主・みらい **辻 一憲** 議員



- ・ 県民の安全安心に向けて
～福祉・労働・交通
- ・ 観光・コンベンション振興
- ・ 共生社会の推進～LGBTの取り組み
- ・ 里山保全とコウノトリ営巣

県会自民党 **大森 哲男** 議員



- ・ 観光行政について
- ・ 県外事務所について
- ・ ひきこもり支援について

公明党 **西本 恵一** 議員



- ・ 知事の施政方針について
- ・ 行財政アクションプランについて
- ・ 健康福祉行政について
- ・ 働き方改革について

民主・みらい **野田 哲生** 議員



- ・ ワクワクするスポーツ文化交流づくりに
ついて
- ・ 行政チェンジと職員のワーク・ライフ・
バランスについて
- ・ 生活道路安全対策について

予算決算特別委員会

県会自民党 **力野 豊** 議員



- ・ ドクターヘリについて
- ・ 嶺南振興局について
- ・ エネルギー政策について

県会自民党 **西本 正俊** 議員



- ・ 防災・減災への備えについて
- ・ 移住定住・交流人口の拡大について
- ・ 農業政策について
- ・ 北陸新幹線の早期開業について

県会自民党 **山本 文雄** 議員



- ・ 福井しあわせ元気国体について
- ・ 少子化・人口減少対策について
- ・ 北陸新幹線について

県会自民党 **清水 智信** 議員



- ・ スポーツコミッションについて
- ・ 交流文化部について
- ・ 観光について
- ・ そばについて
- ・ 自転車活用推進計画について

県会自民党 **田村 康夫** 議員



- ・ 人事評価について
- ・ 豚コレラについて
- ・ 動物愛護について
- ・ 障がい者福祉について
- ・ 交流人口対策について

県会自民党 **関 孝治** 議員



- ・ 林業について

県会自民党 **鈴木 宏紀** 議員



- ・ 県政全般について
恐竜博物館について
長期ビジョン策定について

予算決算特別委員会では、田中 三津彦 議員、長田 光広 議員、西畑 知佐代 議員、細川 かをり 議員、宮本 俊 議員、佐藤 正雄 議員、辻 一憲 議員も質問をしています。

代表質問、一般質問をした議員は、この欄には掲載しませんが、審議の様子は、YouTubeでご覧になれます。

常任委員会

総務教育常任委員会

6月定例会では、本委員会に付託された「消費税および地方税法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について」、「公立大学法人福井県立大学定款の一部変更について」などの5議案について、慎重に審査を行った結果、いずれも原案どおり可決すべきものと決定した。

所管事務の調査では、長期ビジョンの策定について論及があり、「地域間格差をなくすような対策も盛り込むのか」との質問に対し、「人口が減っても今の生活の質を維持できる適応化戦略を充実させていく」との見解が示された。

また、付託された請願については、「日米首脳会談の内容を明らかにし、日米貿易交渉の中止を求める意見書提出に関する請願」が1件あり、慎重に審査を行った結果、不採択と決定した。



公立大学法人 福井県立大学

産業常任委員会

6月定例会では、本委員会に付託された「スポーツふくい基金条例の一部改正」について審査を行った結果、全会一致で原案のとおり可決することに決定した。

また、所管事務について、広範多岐にわたり調査を行なった。豚コレラへの対応について論及があり、「野生イノシシへのワクチン散布により、豚コレラは終息するのか」とただしたのに対し、「このワクチンは野生イノシシに抗体をつくり、豚コレラの拡散を防止するものである。これより先に、養豚場周辺における柵の設置や消毒などの対応はしているものの、本県より先に感染が拡大した岐阜県でもまだ終息していないため、生易しいものではない。今後もきちんと対応していく必要がある」との見解が述べられた。

このほか、いちほまれのブランド化戦略の見直し、伝統産業における人材の確保等について、対応と見解をただした。



いちほまれ現地研修会

厚生常任委員会

6月定例会では、所管事務において、児童虐待について論及があり、「親から子供への体罰に関する通報は、医療機関等のほか、近隣者からの通報も大事だと思うが、県民とのネットワークづくりをどのように考えているのか」との質問に対し、「県民の方を含め、あらゆる機関からの通報が必要であり、24時間電話相談を受け付け、虐待防止のキャンペーンも実施している。近隣者からの通報件数は増加しており、子供への関心が高まっていると感じている。今後も啓発に努めていく」との見解が示された。このほか、「食べきり運動」等の質問があり、対応等が示された。



保育所での食べきり運動の開催

また、本委員会に付託された『日本政府に「核兵器禁止条約」への賛同と批准を求める意見書の提出に関する請願』について、慎重に審査を行った結果、不採択と決定した。

土木警察常任委員会

6月定例会では、本委員会の所管事務について調査を行った。

まず、全国で多発している交通事故について論及があり、「他県において危険箇所の総点検を実施しているが、最近、危険箇所の緊急点検を行っているのか」との質問に対し、「現在行っている幼稚園、保育所等による危険箇所の抽出後、保育所等の対象施設関係者、その所管機関及び警察において点検を行う予定。関係各課と担当者会議を行い、密接に連携し対応していく」との見解が示された。

また、国道8号あわら市熊坂から笹岡まで



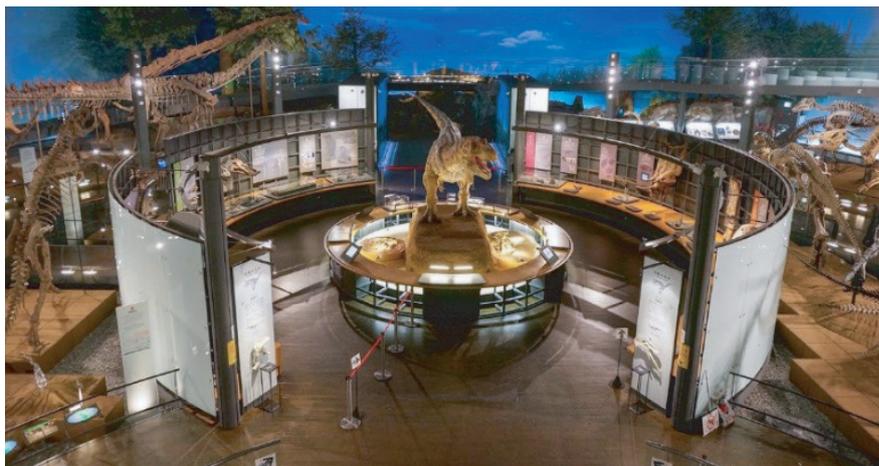
危険箇所の点検

の大雪時のチェーン規制について論及があり、「県警察として、どのような体制で取り締まりを実施するのか」との質問に対し、「現場を見て個別判断していく」との見解が示された。

このほか、「繁華街の治安対策」等についての質問があり、対応等が示された。

予算決算特別委員会

6月定例会では、本委員会に付託された「令和元年度福井県一般会計補正予算(第1号)」などの2議案について、慎重に審議を行った結果、いずれも原案どおり可決すべきものと決定した。そのほか、審査の過程において論及のあった主な内容は、次のとおりである。



福井県長期ビジョン

県民と共有でき実効性ある長期ビジョンにするため、多様化する地域の課題や魅力等を洗い出す必要があり、多様な県民との意見交換の機会を設けるべきではないか、との質問に対し、「世代別意見交換会やアンケート等、9月議会に向け意見を聞く。その後も聞き取り等を行い、多様な意見を集約していきたい」との見解が示された。

また、スケジュールありきでなく議論の進捗状況を見ながら成案化を図ってはどうか、との質問に対し、「時期にこだわらず、毎議会、議論いただき、方向性が出たところで取りまとめていきたい」との見解が示された。

恐竜博物館

恐竜博物館の増改築の方針が示されたことについて、局面局面における検討状況の説明を求めた。また、今後の議会への説明スケジュールについての質問に対し、「調査事業の議決後速やかに検討に着手し、9月定例会には検討状況を中間報告、12月定例会には必要な機能や規模、概算事業費を説明、来年2月定例会には配置計画案や外観イメージなどを含む最終的な説明を行う」との見解が示された。

嶺南地域の医療充実

嶺南の救急医療充実のためドクターヘリの基地病院を嶺南に設置することを検討してはどうか、との質問に対し、「嶺南は京滋ドクターヘリで

重層的にカバーする。ドクタープールを活用し嶺南の救急医療を進めていきたい。ドクターヘリは全県的な視野で配備を考えている」との見解が示された。この見解を受け、ドクターヘリは救急医療充実の手段であり、県内の医療格差に目を向けてほしいとの要望が述べられた。

新幹線開業に向けての観光誘客

北陸新幹線敦賀開業の効果を最大限に発揮するため観光の目玉が必要ではないか、との質問に対し、「恐竜博物館、一乗谷朝倉氏遺跡などを磨き上げ、そこを目的に来ていただけるよう市町と協働し対応していきたい」との見解が示された。

教育現場の業務改善

中学校の新任教諭の自殺に関し教育姿勢をただしたのに対し、「月内に県内の市町教育長や学校長を集めた会議を開き、労働環境の改善について話し合う。また、チームの中で児童生徒を育てる体制を作る必要がある。県教育大綱には、教員が子供と向き合う時間を確保する重要性を位置づける」との見解が示された。

その他

県立大学の新学部、北陸新幹線整備、高齢者の移動手段の確保、嶺南振興局の機能強化、防災・減災、障害者雇用、児童養護、保育士不足、移住定住・交流人口、人口減少対策、豚コレラ、林業、働き方改革など広範多岐にわたり、それぞれ理事者の見解と対応をただした。

令和元年5月臨時会 議案等議決結果

●知事提出議案

議案等番号	件名	議決結果
第37号議案	福井県の部制に関する条例の一部改正について	原案可決
第38号議案	専決処分につき承認を求めることについて(福井県県税条例の一部改正について)	原案承認
第39号議案	専決処分につき承認を求めることについて(特定地域等の振興を促進するための県税の課税の特例に関する条例の一部改正について)	原案承認
第40号議案	福井県監査委員選任の同意について	原案同意
第41号議案	福井県監査委員選任の同意について	原案同意

●議員提出議案

議案等番号	件名	議決結果
発議第1号	福井県議会基本条例の一部を改正する条例(案)	原案可決
発議第2号	福井県議会委員会条例の一部を改正する条例(案)	原案可決
発議第3号	福井県議会会議規則の一部を改正する規則(案)	原案可決

令和元年6月定例会 議案等議決結果

●知事提出議案

議案等番号	件名	議決結果
第42号議案	令和元年度福井県一般会計補正予算(第1号)	原案可決
第43号議案	令和元年度福井県港湾整備事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
第44号議案	消費税法および地方税法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決
第45号議案	福井県県税条例等の一部改正について	原案可決
第46号議案	福井県一般職の職員等の給与に関する条例等の一部改正について	原案可決
第47号議案	スポーツふくい基金条例の一部改正について	原案可決
第48号議案	公立大学法人福井県立大学が行う出資等に係る不要財産の納付の認可について	原案可決
第49号議案	公立大学法人福井県立大学定款の一部変更について	原案可決
第50号議案	福井県副知事選任の同意について	原案同意
第51号議案	福井県副知事選任の同意について	原案同意
第52号議案	福井県教育委員会教育長任命の同意について	原案同意
第53号議案	福井県監査委員選任の同意について	原案同意

●請願・陳情

請願第1号	日本政府に「核兵器禁止条約」への賛同と批准を求める意見書の提出に関する請願	不採択
請願第2号	日米首脳会談の内容を明らかにし、日米貿易交渉の中止を求める意見書提出に関する請願	不採択

「福井県議会だより」へのご感想をお聞かせください。

【応募方法】

福井県議会ホームページの「福井県議会だよりアンケート」のページから、ご感想、ご意見をお願いいたします。

発行 福井県議会広報会議

〒910-8580 福井市大手3丁目17-1

福井県議会 議会局総務課

電話：0776-20-0605 FAX：0776-20-0674

HP：http://info.pref.fukui.lg.jp/gikai/youkoso.html

令和元年9月6日発行